

第3回「文芸思潮」新人賞 中間発表

●第3回「文芸思潮」新人賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。おかげさまで総数四四編の作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る四月三〇日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。

袖詠

◎「アトラップ・レビュー」西上 礼

○「陸月の青」

◎「初恋」 山中勇樹

○「九十沢のてびらがね」杉村 修

◎「楽園」 木坂 京

○「恋する、人魚は」 牧野楠葉

◎「人形少女」ばばおうちかえる

○「ブルーライト八〇%のサングリ

◎「未踏の創造と死と」 渡部裕也

ア」 一斤 囁

◎「じりじり」 一澄

○「逃亡産婦人科医」

◎「軍艦岩」 堀口現代人

○「お客様の声」

◎「宝を後にして」 壁 晃弘

○「春にして君想う」 高寺芳和

◎「火あそび」 金子 月

○「ヒーロー序説」 見坂卓郎

◎「プリンセス・パラドックス」 倫子

○「雨傘ブラリデート」 沈黙静寂

◎「蒼い世界」 小田桐ユウ

○「子ども部屋シテイ」 深井戸睡眠

◎「ジングスの日」 米井暢成

○「海が呼んでいるから」 松山尚紀

◎「パニクワンギ風儀録」 中山喬章

○「ぼくにとっての海」 柴田草矢

◎「作品」 薛沙耶伽

○「龍神憑きの小町さん」 本間勇輝

◎「学者を求めて」 かきあげあゆみ

○「豪雨」 ソウダソウ

◎「某の欲望」 佐藤龍一

○「ユウ」 山下止水

◎「語るべきこと」 初鳥卓真

○「ライト」 鍋木 一京

◎「約束の庭」 林由佳莉

○「Built-in Memory」 友井コウ

◎「彼女からの手紙」 中川蒼太郎

○「愛してアイシテ LOVE っ」

◎「7時間のノスタルジア」 宮田舞

○「私を呼んで」 夏野抹茶

◎「夏の花」 しゅんスケ

○「私を呼んで」

◎「鳥類学者の夢」

八幡なつみ

■応募者の皆様へ 第一次・第二次・第三次の選考について

「文芸思潮」銀華文学賞・新人賞への御応募まことにありがとうございます。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次の選考基準は、他者に伝える文章になつていくかどうかが最も重要な基準点となります。また書く姿勢を加味させていただきます。少し文章が粗くても、他者に訴えたい切実なものが感じられる作品は一次を通過しています。また逆に文章を整っていても、書く姿勢が曖昧なもの、書く必然性が希薄なもの、中途半端なものは落とさせていただきます。この二点をクリアしたものが一次予選通過者です。何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。したがって、応募者全員が一次予選合格ということもあり得ます。

第二次予選は、その中でさらに強く何かが感じられるもの、光るものが選ばれます。何かが読み手の中に残っている作品ということになります。一行でもいい、一人の人物でもいい、見方でもいい、何か一つ心に残るようなものがあると、上に拾い上げたいという、一つの魅力を持つているかどうかのポイントになります。

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほしいような普遍的な力を備えているかが、選考の基準になります。第三次予選まで通過した作品は、ほぼ雑誌に載つてもいい、人に読んでもらつても何か訴える力を備えていて、読んだ人の心に何かが残つて新たな力になるような作品です。

「文芸思潮」選考委員会では、選考の便宜性を重視して作品数によって制限するのはなく、作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさん作品が三次予選、さらには二次に選出される可能性もあります。

どうかこれらの点を御了解くださいますようお願い申し上げます。またご自身の文章力が具体的にどれくらいレベルか、文章力検定も併せてご利用いただけましたら、文章技量向上の一つの目安になると思います。

(銀華文学賞・新人賞選考委員会)